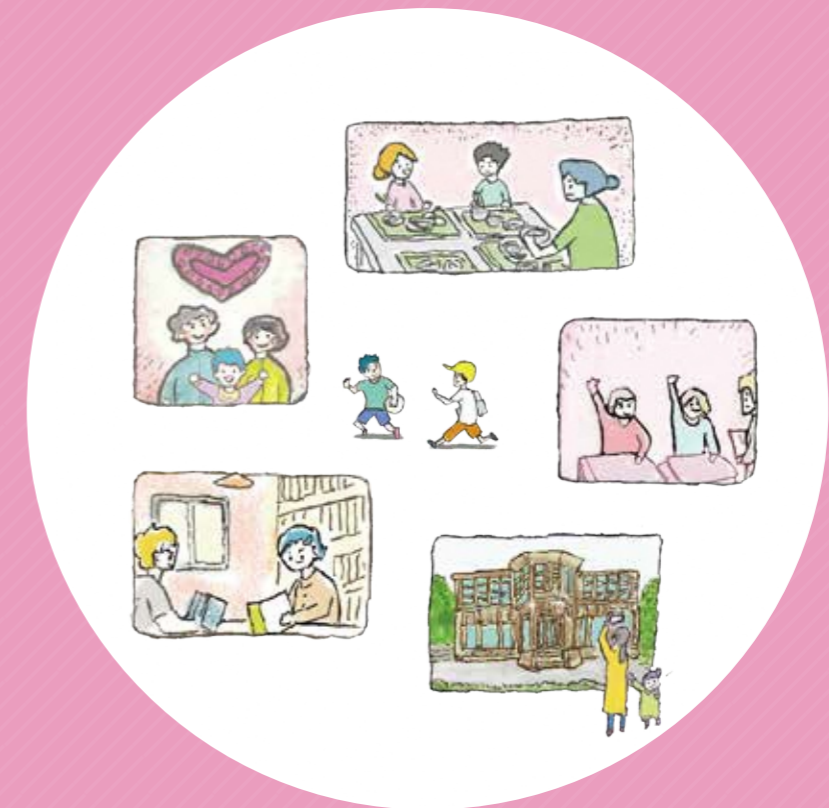


第六次総合計画
前期基本計画

基本目標別計画

5

豊かな個性を育み未来を拓く
誇りあるまち



子ども・文教 政策



1 少子化対策・子育て支援の推進

施策の目標

結婚・妊娠・出産・子育てに希望あふれるまちを目指します！

現状と課題

婚姻件数・出生数の減少

- 本市の婚姻件数と出生数は、近年減少傾向にあります。これには、20代・30代の人口減少や経済的な不安定さ、仕事と子育ての両立の難しさなどのさまざまな要因が影響していると考えられます。
- 本市の平均初婚年齢は男女ともに上昇傾向にあり、また、25～39歳の女性の未婚率は全国平均よりも高くなっています。

妊娠・出産・子育てへの不安の軽減

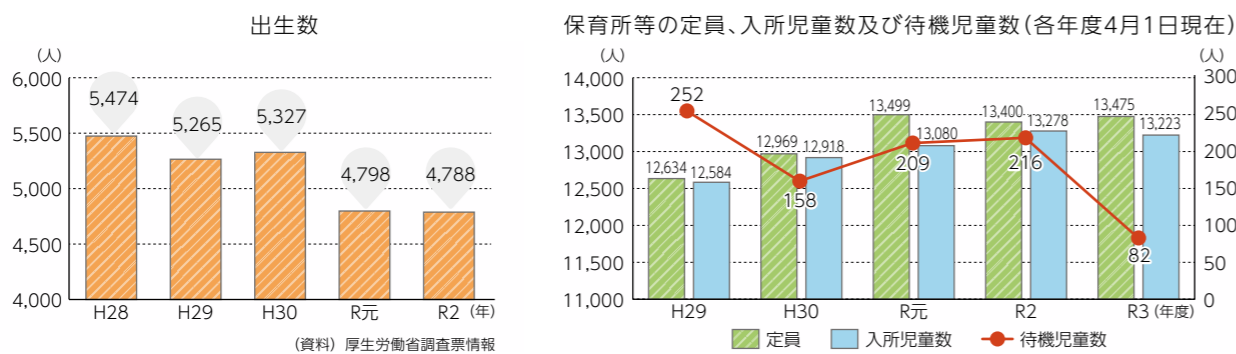
- 核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、子育て家庭を取り巻く環境が変化し、子育てへの不安や孤立感を感じている家庭が少なくありません。
- さまざまな不安や悩みを抱える若年妊婦等への地域でのきめ細かな支援が求められています。
- 安全で安心な妊娠・出産・子育てへのニーズが高まっています。
- 晩婚化や出産年齢の高年齢化等により、希望しても子どもを得られにくい人が増えています。

幼児教育・保育に必要な量の確保と質の向上

- 待機児童は、共働き家庭の増加等による保育需要の増加に伴い、依然としてその解消に至っていません。
- 幼児教育・保育の無償化に伴い、国から、施設における教育・保育の質の向上が要請されています。
- 保護者の就労形態の多様化に対応した保育サービスが求められています。

子育て世代のニーズの多様化

- 共働き家庭の増加等により、放課後における児童の健全育成の取組など、多様化する子育て世代のさまざまなニーズを踏まえた支援が必要となっています。
- 核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、育児不安の増大や子育ての孤立化などが課題となっています。



基本的方向

- I 結婚は個人の自由な意思決定に基づくものである点に留意しつつ、若い世代へのライフプランニング*支援や出会いの場の提供など、安心して結婚できる環境の充実に努めます。
- II 妊娠・出産を希望する方への支援体制の構築や安心して子どもを産み育てることができる環境整備など、妊娠・出産・子育て期へと切れ目ない支援に取り組みます。
- III 保育士確保や就労継続支援を通じた保育の受け皿確保に取り組むとともに、安全な教育・保育環境や保育サービスの提供体制の充実に努めます。
- IV 児童クラブの待機児童解消を図るとともに、地域における子育て支援活動の推進や支援拠点施設の機能充実など、地域の子育て力の向上に取り組みます。



目指す主なSDGsのゴール

◆主な取組

- I **出会い・結婚の支援の充実**
 - 出会いの機会・場の提供 → ◆婚活イベントの実施
 - 結婚に関する相談・支援 → ◆結婚相談所(マリーサポートかごしま)の運営
◆結婚新生活支援
 - 若い世代へのライフプランニング支援 → ◆ライフデザインセミナーの開催
- II **妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援の充実**
 - 妊娠・出産を希望する女性等への支援 → ◆検査・予防接種の実施
◆不妊・不育症に悩む方への支援
 - 妊産婦健康診査・健康相談の実施 → ◆妊産婦健康診査の充実
 - 妊娠・出産包括支援の推進 → ◆子育て世代包括支援センターの充実
◆乳幼児健康診査の充実
◆妊産婦への支援の充実
 - 小児保健医療の推進 → ◆予防接種・歯科口腔保健施策の実施
- III **幼児教育・保育の充実**
 - 就学前児童の待機児童対策 → ◆保育士等の確保と就労継続支援
◆保育士等の業務負担軽減
◆保育の受け皿の確保
 - 安全な教育・保育環境の充実 → ◆事故防止対策巡回支援 ◆施設の耐震老朽整備
◆認定こども園・幼稚園の施設等整備
 - 多様な保育サービスの提供 → ◆病児・病後児保育等の実施
◆保育コーディネーター等による情報提供
- IV **地域における子育て支援の充実**
 - 児童クラブの充実 → ◆児童クラブの運営
◆児童クラブの整備
 - 地域の子育て力の向上 → ◆地域子育て支援拠点施設の運営・相談体制の充実
◆地域子育て活動の推進
◆子育て支援ネットワークの充実



目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
「安心して子どもを産み育てられる環境が整っている」と感じる市民の割合	38.2%	46.6%	市民意識アンケート調査
主な指標	現況	目標(R8)	算出方法
婚活事業への参加者の満足度	86.1%	90.0%	婚活イベント参加者アンケート調査
乳幼児健康診査の受診率	97.8%	100.0%	かごしま市の保健と福祉
保育所等の待機児童数	82人	0人	
児童クラブの待機児童数	42人	0人	

市民
みんなで

市民・地域

事業者・団体等

- ◆若い世代の結婚や子育てを応援する気運づくりを進めましょう。
- ◆妊娠期から、親子の健康の維持・増進に努めるとともに、性別を問わず子育てに向き合い、明るい家庭を築きましょう。
- ◆子どもが、地域の人々との交流を通じて健全に成長できる環境づくりに取り組みましょう。
- ◆子育てと両立しながら働ける環境づくりに努めましょう。
- ◆行政や市民と連携し、安心して子育てができる環境をつくり、子どもの健全な成長を支援しましょう。

*ライフプランニング：自分の生活や人生をどのようなものにしていくか計画をたてること。



2 子どもの健やかな成長への支援

施策の目標 子どもたちが健やかに成長し、将来にわたって夢や希望を持てるまちを目指します！

現状と課題

子育てに伴う経済的負担の軽減

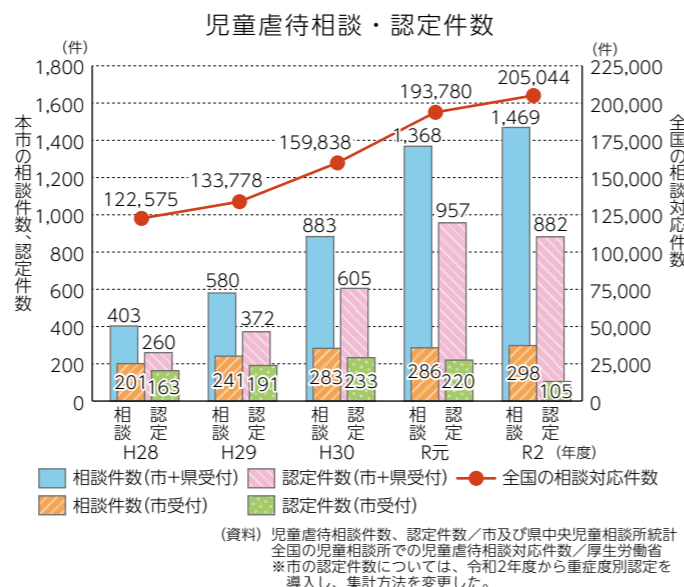
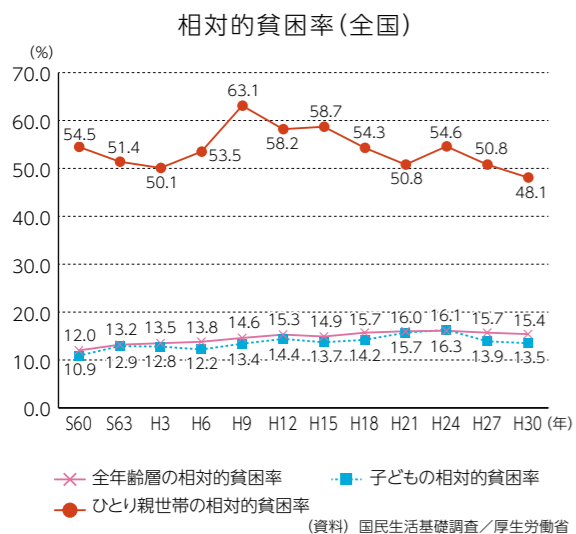
● 2019年国民生活基礎調査によると、子育て家庭の約6割が「生活が苦しい」と回答しており、中でも母子世帯では、約8割から同様の回答があることから、ひとり親家庭をはじめ、子育て家庭への支援の充実を図る取組が必要となっています。

地域社会での支援が必要な子どもへの対応

- 平成29年度に実施した本市の子どもの生活に関するアンケート調査によると、14.6%の子どもが相対的貧困*状況にあります。
- 子どもの貧困の原因は、家庭だけでなくさまざまな要因によることから、その解決に当たっては、家庭のみではなく、地域社会全体で解決していく必要があります。

児童虐待相談の増加

- 児童虐待は、子どもの心身の発達及び人格の形成に重大な影響を与えるとともに、将来の世代の育成への影響も懸念されるため、その防止は社会全体で取り組むべき重要な課題となっています。
- 児童虐待相談件数は、全国と同様に本市でも増加傾向にあり、児童虐待の取組の充実や体制の強化が必要となっています。



基本的方向

- I 子育て家庭に対する経済的支援やひとり親家庭の自立に向けた支援の充実を図り、子育て家庭の生活の安定を図ります。
- II 生まれ育った環境によって子どもの現在及び将来が左右されることのないよう、今後もさまざまな関係機関と連携し、子どもの貧困対策や居場所づくりを推進します。
- III 児童虐待の発生予防から早期発見、支援等に至るまで、切れ目のない総合的な支援を実施するとともに、児童相談所の設置など体制強化を図ります。

施策の体系

◆主な取組

- I **子育て家庭の福祉向上**
 - 子育て家庭に対する経済的支援
 - ◆子ども医療費の助成
 - ◆各種手当の支給
 - ひとり親家庭への支援
 - ◆経済的な支援
 - ◆自立支援の推進
- II **子どもが希望を持てる環境の充実**
 - 子どもの未来応援施策の充実
 - ◆子どもの貧困対策の推進
 - ◆子どもの未来を応援する条例の制定
 - 子どもの居場所づくりの推進
 - ◆子ども食堂等への支援
 - ◆学習支援の実施
- III **児童虐待対策の充実**
 - 子どもと家庭への総合的な支援
 - ◆子ども家庭総合支援拠点の設置・運営
 - ◆関係機関と連携したきめ細かな支援
 - ◆ニーズに応じた多様な相談の実施
 - 児童虐待対策の体制強化
 - ◆児童相談所の設置に向けた取組

目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
「子どもたちが健やかに成長し、将来にわたって夢や希望を持てる」と感じる市民の割合	29.2%	40.0%	市民意識アンケート調査
主な指標			
就業支援を受けたひとり親の就業率	59.0%	70.0%	母子家庭等就業支援講習会受講者等の就業状況調査
市内の子ども食堂数	29箇所	39箇所	県子ども食堂登録制度
児童虐待相談件数に占める虐待認定件数の割合	35.2%	29.0%	

市民みんなで

- ◆地域で子どもと子育て家庭を見守りましょう。
- ◆子どもが地域の人たちと交流できる環境づくりに努めましょう。
- ◆児童虐待を受けたと思われる子どもに気付いたときは、すぐに相談しましょう。

事業者・団体等

- ◆ひとり親家庭の親の雇用を推進しましょう。
- ◆子どもの健やかな成長を支援する活動に協力しましょう。
- ◆市民・地域と連携して、見守りなど、要保護児童等の支援に努めましょう。

*相対的貧困：その地域や社会において普通とされる生活を享受することができない状態のこと。



3 学校教育の充実

施策の目標

夢と志を持ち可能性に挑戦する児童生徒を育む教育を目指します！

現状と課題

人間関係の希薄化や生活体験の不足等

- 人口減少や価値観の多様化などにより、人間関係におけるつながりの希薄化、規範意識や倫理観の低下、生活体験の不足などが指摘されています。
- 豊かな人間性や社会性、思いやりの心を育み、児童生徒の不安や悩みへの適切な対応が求められています。

社会の変化に対応する確かな学力の育成

- 情報化社会の進展などにより、予測が困難な時代によりよい社会と幸福な人生の創り手となるために必要な「生きる力」の育成が求められています。
- 幼・小・中・高の各段階で、一人ひとりの能力に応じた指導の充実を図る必要があります。

児童生徒の健やかな心身の成長と安全への備え

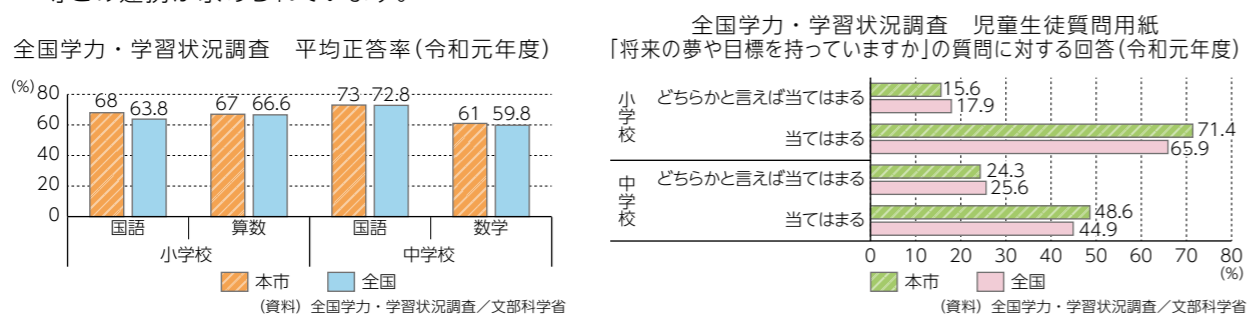
- 社会環境や生活様式の変化に伴い、運動や食を含む生活習慣等に関する正しい知識の習得や指導方法の工夫が必要とされています。
- 学校における事故の防止や自然災害への備えが指摘されている中、防災対策を含む学校安全の充実に向けた取組が求められています。

保護者や地域住民が参画する学校運営と教職員の資質向上

- 保護者や地域住民等の理解と参画を得ながら、学校の課題解決に取り組み、学校運営に積極的に生かすことが必要とされています。
- 次世代を担う人材を育成するために、高い専門性を持ち、新たな課題に積極的に取り組むなど、教職員のさらなる資質向上が求められています。

児童生徒が安心して学べる環境の整備

- 環境や防災等に配慮した施設整備を進める必要があります。
- 家庭の経済状況や地理的条件等を考慮した教育費の負担軽減に加え、本市の教育の一翼を担う私立学校等との連携が求められています。



- I** 規範意識や自他の生命を尊重する心、困難を乗り越えながら物事を成し遂げる力、自ら考え判断し行動する力等の育成に取り組みます。
- II** 技術革新が一層進展し、変化の激しい社会で児童生徒が成長していくために、ICTの活用やキャリア教育の充実、市立高等学校の振興を図るなど、個性と能力を伸ばす教育を推進します。
- III** 運動・スポーツに親しむ機会の充実、健康的なライフスタイルの確立に向けた支援、安全教育・防災教育の充実に取り組みます。
- IV** 地域と連携・協働しながら、学校運営を継続的に改善するとともに、教職員研修の充実を図ります。
- V** 教育施設の整備や教育費の負担軽減、関連団体との連携を含めた教育環境の充実を図ります。

基本的方向



目指す主なSDGsのゴール



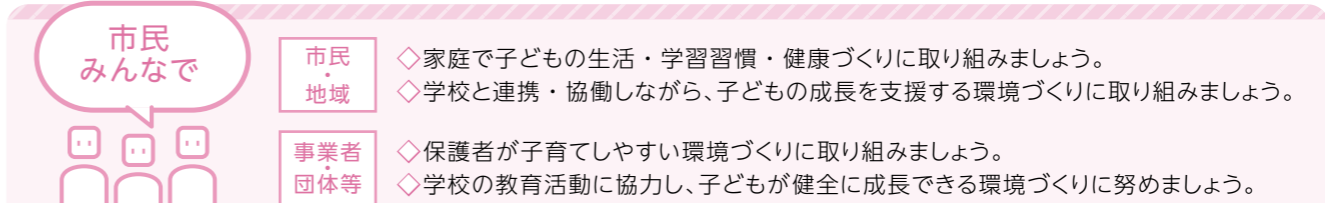
◆主な取組

施策の体系



目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
「夢と志を持ち可能性に挑戦する児童生徒を育む教育がなされている」と感じる市民の割合	25.6%	37.0%	市民意識アンケート調査
主な指標			
「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」と回答した児童生徒の割合の全国との比較	小6 -4 中3 -5 (H27~R元年度の平均)	小6 ±0 中3 ±0	全国学力・学習状況調査 ※全国平均を100とした本市との差
全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との比較	小6 +1.9 中3 -0.1 (H27~R元年度の平均)	小6 +2 中3 +1	全国学力・学習状況調査 (国語、算数・数学) ※全国平均を100とした本市との差
「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合の全国との比較	小5 ±0 中2 +1 (H27~R元年度の平均)	小5 +0.5 中2 +1.5	全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ※全国平均を100とした本市との差
学校運営協議会の活動状況等を知っている保護者の割合	20.1%	80.0%	学校評価(保護者対象)の調査
学校のトイレの洋式化率	53.8%	78.6%	児童生徒が使用するトイレの洋式便器数/校舎、屋内運動場等の全便器数



※情報モラル教育：情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付ける教育活動のこと。



4 生涯学習の充実

施策の目標

市民が生涯を通じて学び、活躍できるまちを創ります！

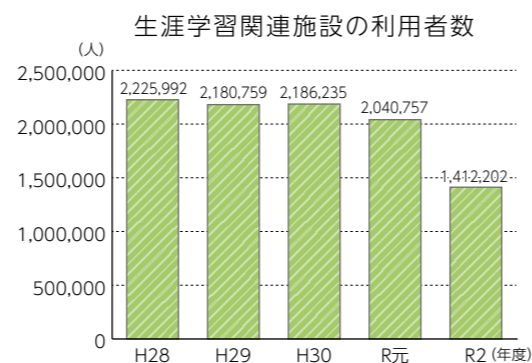
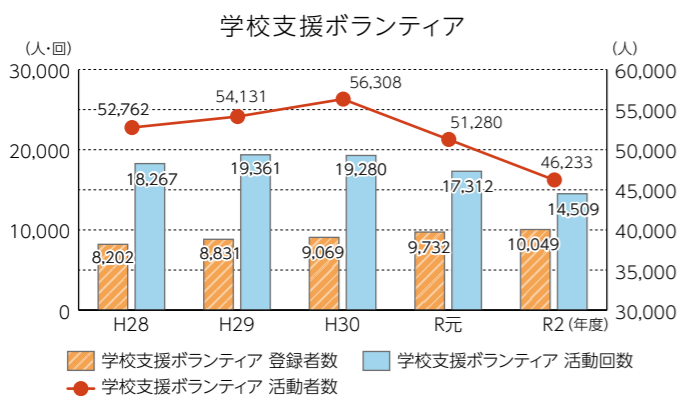
現状と課題

地域における多世代の交流

- 家庭や地域住民との関わりが少なくなる中で、市民が生涯を通じて学習活動に積極的に取り組む気運をさらに高めるとともに、地域社会において各世代が交流することや社会活動への参加など、生きがいの創出につながる取組の重要性が再認識されています。
- 価値観の多様化に伴い、さまざまな学習機会の提供が求められています。

生涯学習に対するニーズの多様化、高度化

- “人生100年時代”など、私たちの暮らしにとって大きな転換点を迎える中で、これまでの教養に加え、新たな知識を身に付けることなど、生涯学習の充実が求められています。
- 生涯学習関連施設の整備を計画的に進めながら、活動に関するさまざまな情報をわかりやすく市民に届けることが求められています。



公民館での活動



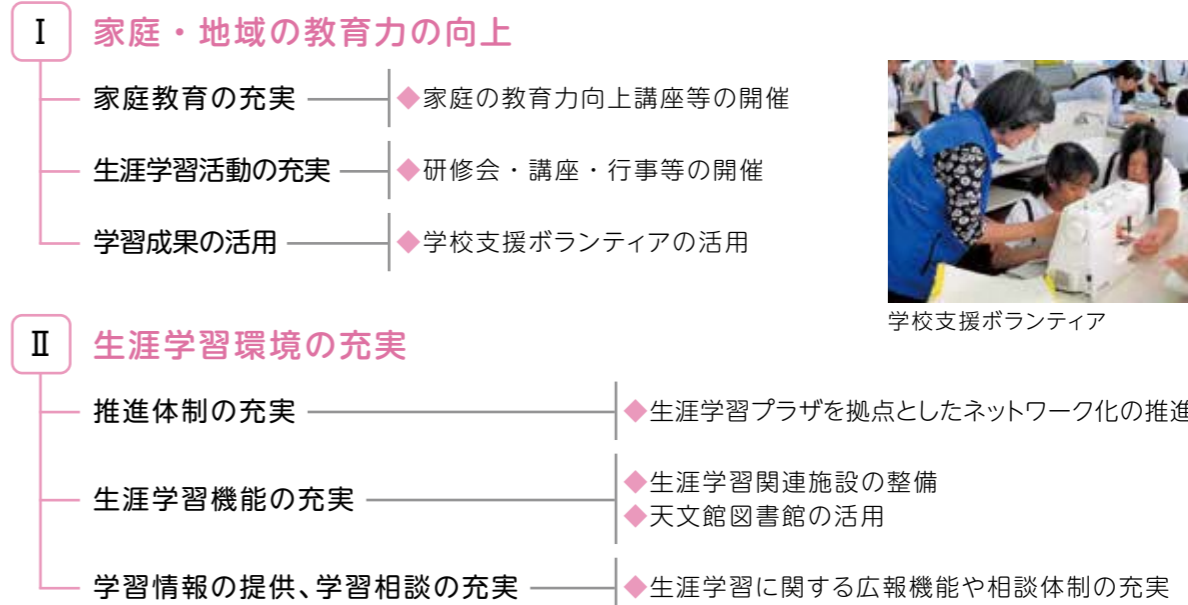
図書館おはなし会



基本的方向

- I ニーズに応じた多様な学習機会の提供や学習成果の活用を図り、家庭や地域の教育力の向上に取り組めます。
- II 生涯学習関連施設の整備、広報機能や相談体制の充実に取り組めます。

施策の体系



学校支援ボランティア

目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
「生涯を通じて興味・関心のあることを学ぶ環境が整っている」と感じる市民の割合	28.3%	41.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	現況	目標(R8)	算出方法
学校支援ボランティアの活動者数	46,000人	54,000人	
地域公民館や図書館などの生涯学習関連施設の利用者数	1,412千人	2,120千人	

市民みんなで

- 市民・地域
 - ◇ 潤いと活力のある人生を楽しむため、生涯学習に取り組ましましょう。
 - ◇ 生涯学習で学んだことや経験を世代間交流やボランティアなどに生かしましょう。
- 事業者・団体等
 - ◇ それぞれの専門性を生かして、市民が生涯学習に取り組みやすい環境づくりに努めましょう。



5 市民文化の創造

施策の目標

心を潤し、まちに活力をもたらす市民文化の創造を目指します！

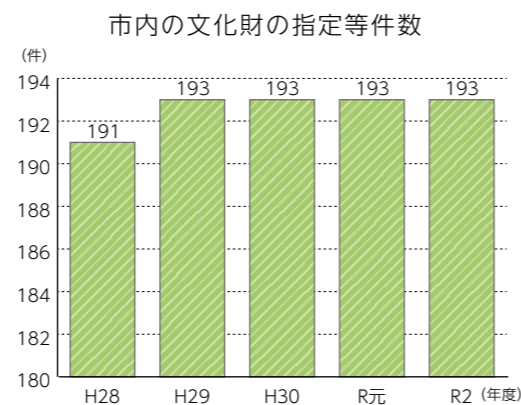
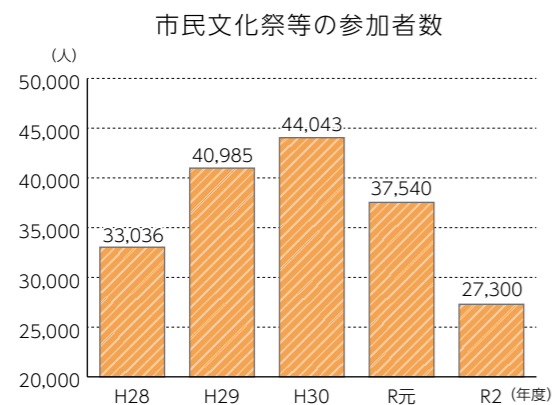
現状と課題

文化芸術を身近に感じる環境や人づくり

- 文化芸術は豊かな人間性を育むとともに生活に潤いをもたらし、まちに活力を与えています。
- 市内には文化芸術に関する施設や団体等があり、さまざまな活動が行われていますが、誰もが、より身近に感じるための環境や活動の担い手の育成が求められています。

文化財の保存・活用と世界文化遺産の価値の継承

- 各地域の史跡や伝統芸能などの貴重な文化財の保存と活用を進めながら、市内外へその魅力を発信する必要があります。
- 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産について、その価値を将来世代へ継承していく必要があります。



芸術鑑賞事業



旧鹿兒島紡績所技師館(異人館)



基本的方向

- I 文化芸術に触れ親しむ機会の充実と人材の育成、多彩な活動の支援・情報発信に取り組みます。
- II 文化財の適切な管理保全を行いながら、地域の歴史・文化資源を再評価・再発見できるよう、理解増進や魅力発信に取り組みます。

◆主な取組



- I **文化芸術の振興**
 - 文化芸術に触れ親しむ機会の充実と活動の促進
 - ◆芸術鑑賞事業等の実施
 - ◆文化芸術活動を活性化するための支援
 - 文化施設の活用及び文化芸術情報の発信
 - ◆文化施設の管理運営及び文化芸術情報の発信
- II **歴史・文化資源の保存と活用**
 - 文化財の保存の充実と積極的な活用
 - ◆埋蔵文化財・指定文化財等の保存活用
 - ◆伝統芸能の保護と活用
 - ◆世界文化遺産の構成資産の管理保全と活用



鹿兒島城跡



市民文化ホール



目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
「文化芸術などに親しみ、身近に体験できる環境が整っている」と感じる市民の割合	46.5%	56.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	現況	目標(R8)	算出方法
市民文化祭等の参加者数	27,300人	36,600人	
市内の文化財の指定等件数	193件	195件	



- 市民・地域**
 - ◇文化芸術に関心を持ち、触れ親しむ機会を持ちましょう。
 - ◇文化芸術活動や文化財の保存・継承の活動の輪を広げましょう。
- 事業者・団体等**
 - ◇それぞれの専門性を生かして、文化芸術活動や文化財の保存・継承に、市民・地域とともに取り組みましょう。